

9月21日 茶屋町（茶屋町会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は矢印⇒です。

- 人口減少対策として、企業誘致や湘南大磯病院への産婦人科の設置が有効と考えるかどうか。
 - ⇒ 過去に、アサヒビール工場のあった南足柄市では多くの納税額を得ていました。町有地を使ってふるさと納税に対応できる企業誘致を行いたいと考えています。
湘南大磯病院に婦人科は開設されましたが、産科については医師の手配が難しいことが課題となっています。県内の大学医学部に医師の手配ができるよう働きかけを始めています。

- 中学校の給食施設の進捗はどうなっているか。
 - ⇒ 中学校施設の老朽化が課題となっており、中学校に自校式の給食施設を作ることは進んでいません。小学校は自校式ですが、こちらも施設の老朽化が課題であるため、将来的に、小学校と中学校をあわせた給食センターを作ることが合理的と考えています。来年度は、今後の方向性をしっかりと決められるようにしたいと考えています。

- 避難所となっている体育館に冷房が必要だと考えるが対応はするのか。
 - ⇒ 学校体育館へのエアコンの設置は必要と考えています。先行して工事を行った茅ヶ崎市の中学校に視察に行き、工事方法や工期に関するノウハウを確認しています。来年度予算で着手できないか調整中です。

- 駅前の大磯小学校前の道が狭く危険である。また、横断歩道やガードレールの設置の見直しが必要で、生活道路として駅前整備に含め安全性を検討してもらいたい。
 - ⇒ クリエイトの前にある横断歩道は駐輪場があった時の名残であり、場所の変更要望もありますが、残してもらいたいとの意見もあります。横断歩道の場所とガードレールの設置場所については、町民の方の意見を集約し、安全に配慮した見直しを検討していきます。

- 鴨立沢から大磯小学校までの道が暗くて危険なため、明るくなるよう対策してもらいたい。
 - ⇒ 来年度は町内各地の街路灯を増やす方向ですので、ご要望の場所についても対応を検討します。

- 新庁舎の建設に町が50億円の借金をして、子どもや孫の代まで返済がかかる案について反対である。民間研修施設移転のような別の方法を検討してもらいたい。

⇒ 耐震補強により現庁舎の寿命を延ばし、その間に津波の心配がない場所への移設を検討したいと考えていましたが、町議会の反対で断念しています。町議会の決議に従い、現在地で新庁舎の建設を進めていくことについてご理解をお願いします。

○ 帯状疱疹の予防接種を町の補助で安く接種できるとのことだが、65歳以上であればだれでも受けることができるのか。対象年齢の指定はないのか。

⇒ 対象年齢は65歳、70歳、75歳、80歳と100歳まで5歳きざみになります。

○ 茶屋町会館の前の電柱の移設について、以前からお願いしているが対応してもらえるのか。

⇒ 調べたところ、電柱は私有地に立っていますので、土地所有者の意向も確認しながら進めていきます。

○ ふれあい会館の予約は、毎月1日に施設に行って申し込みしないとできない。毎月の利用が分かっている団体については、年間予約できるようにできないか。また、ネット予約も対応してもらいたい。

⇒ 他団体の要望も確認し、対応可能かを検討します。ふれあい会館の利用団体間で不公平感が出ないように配慮しながらより便利な予約方法を検討していきます。ネット予約には反対の声もありますので慎重に対応します。

○ 軍用機飛行について、浜に近いところを飛ぶことがあるが、もっと影響の少ない沖合を飛ぶことはできないのか。

⇒ 海岸で確認しましたが、米軍機が浜に近いところを飛ぶこともあるようです。米軍に対して要望するのはなかなか難しいです。

○ 行政サービスの範囲と自治会の役割は、これまでずっと変わっていないが、自治会の高齢化と人の減少で負担が大きくなっている。バランスをみながら見直しを検討してほしい。

⇒ 自治会の人的な負担軽減や事務の効率化については、区長会と相談しながら見直し案を検討しています。

以上